

アクションプラン別の取組について

参考資料2

1 区民のアクションプラン

アクションプラン	取組例	実施率					
		2014年度 (H26) ※1	2015年度 (H27) ※2	2016年度 (H28) ※3	2017年度 (H29) ※4	2018年度 (H30) ※5	2019年度 (H31) ※6
① 地球温暖化に関する意識の向上							
家庭でのエネルギー消費量を把握	・電力の消費量などが表示される省エネナビやエコタップ、エコワットなどの機器を利用する。 ・環境家計簿を活用する。	43%	46%	49%	50%	61%	60%
家の大きさや世帯構成が似た世帯と自分のエネルギー消費量を比較	・ホームページを参照するなどして、電力や都市ガスの消費の仕方を他の家庭と比べる。	29%	19%	25%	26%	31%	24%
家庭で地球温暖化問題について話し合いルールを決めて行動		38%	32%	35%	37%	40%	38%
毎月7日をクールアース・デーとして、「我が家の省エネルギー」を実践		9%	4%	7%	7%	8%	7%
環境に配慮した製品の購入	・「リサイクル製品」「近郊で栽培された野菜」などの環境にやさしい製品を購入する。	77%	71%	74%	75%	80%	78%
② 再生可能エネルギーの導入・省エネルギーの実践							
再生可能エネルギー設備の導入	・太陽光発電システム・太陽熱温水器・ソーラーシステムを設置する。	4%	4%	5%	9%	13%	8%
省エネルギー機器や設備の導入	・高効率給湯器(ヒートポンプ式給湯器、潜熱回収型給湯器、燃料電池など)へ買替える。 ・照明をLEDなどに切り替える。	61%	58%	70%	67%	72%	70%
住宅の断熱化による省エネルギー化	・戸建住宅の新築・改築の際には、「次世代省エネルギー基準」を満たしたものとする。	35%	30%	39%	41%	51%	42%
日常的に個人レベルでの省エネルギーを実践	・見ていないテレビや使っていない部屋の照明はこまめに消す。 ・使用していない製品のプラグを抜く。	92%	91%	93%	94%	93%	95%
③ 自動車から排出されるCO₂の削減							
「徒歩での移動」または「自転車の利用」の実践	・近所のスーパーには歩いて行く。 ・自転車を有効活用する。	94%	98%	98%	96%	97%	98%
公共交通機関の利用	・移動・旅行は、自家用車ではなくバスや電車などを利用する。	96%	97%	97%	98%	97%	98%
環境にやさしい運転	・急発進をやめる、アイドリングストップを実施するなど、エコドライブを実践する。	88%	80%	89%	86%	87%	90%
自動車の定期点検	・燃費向上のために、タイヤの空気圧をチェックするなどの点検を定期的に行う。	82%	76%	84%	87%	86%	85%
次世代自動車等への買替え	・買替え時など購入が必要な際は、ハイブリッド車や電気自動車等を導入する。	51%	30%	42%	38%	47%	53%
④ 緑化への取組							
住宅の敷地内の緑化	・“緑のカーテン”や植栽などを作る。	54%	54%	63%	61%	63%	61%
⑤ 3R（ごみの発生抑制、再使用、リサイクル）の実践							
ごみを抑制する行動の実践	・マイバッグを持ち歩き、レジ袋はもらわない。 ・そのまま再使用したり、修理して繰り返し使う。	91%	87%	90%	89%	93%	98%

※1 2015(平成27)年5月～6月実施
 ※2 2016(平成28)年5月～6月実施
 ※3 2017(平成29)年5月～6月実施
 ※4 2018(平成30)年5月～6月実施
 ※5 2019(令和元)年5月～6月実施
 ※6 2020(令和2)年5月～6月実施

2 団体のアクションプラン

アクションプラン	取組例	実施率					
		2014年度 (H26) ※1	2015年度 (H27) ※2	2016年度 (H28) ※3	2017年度 (H29) ※4	2018年度 (H30) ※5	2019年度 (H31) ※6
① 地球温暖化対策の普及啓発活動							
各種イベントの活用	・地域のイベント・行事の際に、身近な省エネルギーの取組などについての普及啓発を行う。	88%	91%	73%	100%	88%	100%
環境学習やイベントの開催	・小中学校などへの出前講座などを実施している。 ・地区、商店街単位での環境学習・啓発イベントを開催する。	86%	75%	60%	83%	75%	83%
省エネルギー化へのアドバイスの実施	・「環境家計簿」などを活用して、アドバイスを行う。 ・省エネルギーに関する相談会などを実施する。	60%	44%	44%	86%	50%	33%
地域独自のエコポイントの導入など、各主体(区民・団体、事業者、区)が連携した取組の実践		50%	50%	44%	43%	17%	33%
3R(ごみの発生抑制、再使用、リサイクルの実践)の実践	・“ごみを再使用または再利用する工夫”をイベントなどで実践し、周知する。	100%	92%	80%	100%	100%	100%
地域における緑化推進活動	・「グリーンデー」を設けて、家庭でできるみどりの作り方を周知する。 ・地域での植栽活動などを実施する。	83%	56%	70%	100%	50%	75%
② ネットワークづくり							
各主体の連携のきっかけ作り	・地域活動により得たネットワークを活用して、単身世帯を巻き込むイベントを実施する。 ・個人、団体などとの意見交換の場づくりをする。	80%	83%	70%	88%	88%	100%
活動の情報発信	・活動内容や成果をホームページで公開している。	100%	85%	73%	89%	89%	100%

※1 2015(平成27)年5月～6月実施

※2 2016(平成28)年5月～6月実施

※3 2017(平成29)年5月～6月実施

※4 2018(平成30)年5月～6月実施

※5 2019(令和元)年5月～6月実施

※6 2020(令和2)年5月～6月実施

3 事業者のアクションプラン

～オフィス、学校、ホテル、病院、飲食店、小売業、大型小売業などにおける取組～

～オフィス、学校、ホテル、病院、飲食店、小売業、大型小売業などにおける取組～

アクションプラン	取組例	実施率					
		2014年度 (H26) ※1	2015年度 (H27) ※2	2016年度 (H28) ※3	2017年度 (H29) ※4	2018年度 (H30) ※5	2019年度 (H31) ※6
① 地球温暖化対策の普及啓発活動・意識の向上							
省エネルギーや二酸化炭素排出量の削減についての具体的な目標設定と取組の実践		54%	50%	39%	62%	62%	64%
イベントや講座への積極的参加	・イベントや展示会などにスタッフとして参加する。 ・区民・団体、区が開催する講座に参加する。	35%	37%	28%	41%	33%	33%
イベントや講座の開催	・事業所内で“省エネルギーコンテスト”を実施する。 ・小学校等への出前講座などを開催する。	10%	13%	8%	17%	18%	22%
地域との連携	・地球温暖化対策に関する情報を共有する。 ・地域との共同によるイベントや事業などを実施する。	27%	20%	21%	22%	25%	28%
環境に配慮した製品の購入	・「リサイクル製品」「近隣で栽培された野菜」などの環境にやさしい製品を購入する。	77%	76%	70%	77%	83%	78%
エネルギー消費量について、同業種の他企業との情報交換	・同じ業種の企業とエネルギー消費や設備導入を含む省エネルギー対策などについての情報交換をしている。	27%	39%	26%	36%	40%	37%
② 再生可能エネルギーの導入・省エネルギーの実践							
再生可能エネルギー設備の導入	・太陽光発電システム・太陽熱温水器・ソーラーシステムを設置する。	8%	11%	10%	15%	13%	19%
省エネルギー機器や設備への切り替え	・照明をLEDなどに切り替える。 ・高効率な空調に切り替える。	57%	60%	62%	72%	70%	68%
「地球温暖化対策報告書制度(東京都)」への参加		16%	12%	6%	14%	11%	14%
エコオフィスによる活動などの組織的な取組の実践	・オフィスにおけるエコ活動や省エネルギー活動を行う。	45%	49%	41%	65%	57%	47%
職場で個人レベルでの省エネルギーを実践	・不要な照明を消す。 ・使用していないときはパソコンの電源を切る。	90%	89%	91%	95%	92%	94%
毎月7日をクールアース・デーとして、「我が社の省エネルギー」を実施	・残業をせずに、夜間のエネルギー消費を減らす。 ・一斉消灯を実施する。	21%	24%	13%	18%	27%	33%
省エネルギー診断の利用やESCO事業の導入		9%	10%	10%	17%	14%	12%
建物の断熱化		27%	23%	19%	30%	18%	27%
事業所におけるエネルギー管理の実践	・毎月のエネルギー使用状況を把握する。	16%	30%	25%	46%	34%	32%
CO ₂ の見える化	・製造工程などで排出している二酸化炭素の数値について“見える化”を行う。	8%	13%	8%	24%	19%	14%
外注先や関連企業などに対し、省エネルギー行動実践の要請		17%	21%	20%	27%	20%	28%

③ 自動車から排出されるCO ₂ の削減							
「徒歩での移動」または「自転車の利用」の実践	・近所への外出の際は、歩いて行く。 ・自転車・レンタサイクルを有効活用する。	92%	91%	86%	82%	88%	87%
駐輪場の確保	・自転車での通勤や移動を促すため、駐輪場の確保に努める。	62%	62%	51%	56%	61%	63%
環境にやさしい運転	・急発進をやめる、アイドリングストップを実施するなど、エコドライブを実践する。	88%	89%	73%	89%	85%	92%
自動車の定期点検	・燃費向上のために、タイヤの空気圧をチェックするなどの点検を定期的に行う。	88%	93%	73%	93%	92%	94%
次世代自動車等への買替え	・買替え時など購入が必要な際は、ハイブリッド車や電気自動車等を導入する。	46%	36%	30%	51%	47%	54%
④ 緑化への取組							
事務所内の緑化	・事務所や店舗などの屋上・壁面を緑化する。 ・敷地にみどりを植えたり、事務所に観葉植物などを置いたり、みどりを増やす。	65%	59%	49%	64%	70%	67%
⑤ 3R（ごみの発生抑制、再使用、リサイクル）の実践							
ごみを抑制する行動の実践	・マイバッグの利用を促す。 ・過剰包装をしない。	89%	89%	82%	81%	87%	90%
事業活動における取組の実践	・イベント等においてリターナブルカップを利用する。 ・文具類などは極力再使用を心がける。	46%	77%	68%	80%	82%	85%
環境配慮設計及びその周知の徹底	・商品を開発する際は、リサイクルしやすい設計などに努め、販売する際は、その周知に努める。 ・修繕・修築やリフォームの施工の際には、環境に配慮する。	51%	63%	53%	72%	72%	65%

※1 2015(平成27)年5月～6月実施

※2 2016(平成28)年5月～6月実施

※3 2017(平成29)年5月～6月実施

※4 2018(平成30)年5月～6月実施

※5 2019(令和元)年5月～6月実施

※6 2020(令和2)年5月～6月実施